

田原本町第 5 次総合計画
基本構想
(案)

田原本町

わたしたちの総合計画

総合計画とは

田原本町では、行政運営の最上位指針としてこれまで4次にわたり総合計画を策定してきました。第5次となる本計画は、本格的な人口減少社会を見据え、向こう10年間の目指すべき将来像を定めるものです。その実現にあたっては、まちの規模の拡大を追うのではなく、暮らしの質や豊かさを高める「縮充」の発想を基本姿勢とし、行政と住民、事業者などの多様な主体が共に地域を創り上げる「共創自治」を推進するための確かな道しるべとなります。

計画の構成

- 基本構想：
田原本町が目指す「まちの将来像」や、まちづくりの柱となる「基本目標」とまちづくりの大きな方向性を示す「政策」を定める、本計画の最も根幹となる部分です。
- 基本計画：
基本構想で定めた政策を体系的かつ着実に推進するため、各分野で取り組むべき具体的な方向性である「施策」を明らかにするものです。
- 実施計画：
将来像や施策の方向性に基づき、実際にどのような「事業」を行うかを定めるものです。社会情勢や財政状況に応じて柔軟に見直していくため、本書（総合計画書本体）には記載していません。

計画の期間

2027年度から2036年度まで。

※本計画は10年間の継続的な計画とします。社会情勢の変化や町を取り巻く課題に迅速に対応するため、必要に応じて随時見直す柔軟な運用とします。

策定する上で大事にしたこと

みんなのための総合計画づくり

まちづくりは、行政の中だけで完結するものではありません。本計画は、住民や事業者、田原本に関わるすべての人と共に創る「みんなのための総合計画」です。住民の皆さんがまちの未来を自分ごととして捉えると同時に、行政職員一人ひとりも自分ごととして地域課題に正面から向き合い、計画を定めました。行政と住民が互いに責任を分かち合い、共に知恵を出し合ってまちを創り上げる「共創自治」の実現を大切にしています。

住民協議会の実施

「みんなのための総合計画」を形にするため、計画策定のプロセスに住民の皆さんに参加いただく「住民協議会（自分ごと化会議）」を全4回にわたり実施しました。無作為抽出で集まった幅広い世代の方々が、田原本の現状や課題、目指すべき未来について自由に意見を交わし、「自分ごと」として熱意ある議論を重ねていただきました。ここで寄せられた多様な声こそが、本計画の方向性を定める確かな土台となっています。

策定のプロセス

本計画は、住民の皆さんの声を広く反映させるため、丁寧なプロセスを経て策定しました。まず、住民の率直な想いを知るためのアンケートを実施し、「住民協議会（自分ごと化会議）」を全4回開催して議論を深めました。そこで得られた多様な意見を基に、総合計画策定委員会や基本構想審議会において何度も検討を重ねています。さらにパブリックコメント（意見募集）を実施し、基本構想については議会の議決を経て本計画を策定しました。

- 総合計画策定委員会とは：
庁内の職員で構成した組織です。第4次総合計画の振り返りや、第5次総合計画の政策・施策の方向性を検討し、実現可能な計画案をつくります。
- 基本構想審議会とは：
外部の有識者と、公募によって選ばれた町民が参加する組織です。基本構想の案について議論、意見を出し合います。

まちの将来像

わたしが関わり、みんなで育む

「ちょうどいい幸福田園都市・田原本」

まちの将来像を支える3つの柱

人が繋がり居場所と出番と活力のあるまち

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もがこのまちに「自分の居場所」と「活躍できる出番」を持ち、いきいきとした活力を生み出せる環境を整えます。また、「お互いさま」の心で支えあう地域のコミュニティを再構築し、一人ひとりが自分らしく、生きがいと幸せを感じて暮らし続けられる心豊かなまちを創り上げます。

安心安全と多様な文化価値を感じられるまち

激甚化する自然災害や日々の暮らしに潜む危険に対し、施設の整備（ハード）と地域防災の仕組みづくり（ソフト）の両面から強靱な防災・減災対策を推進し、誰もが「当たり前前の安心」を実感できる環境を整備します。また、妊娠・出産から子育て、高齢期に至るまでの切れ目のない支援で健やかな日常を守り抜くとともに、唐古・鍵遺跡をはじめとする多様な歴史や文化の価値をまちの誇りとして磨き上げ、彩りある暮らしを支えます。

未来にツケを残さない持続可能なまち

人口減少という現実から目を背けず、まちの規模の拡大を追うのではなく、限られた資源の中で暮らしの「質」を徹底して高める「縮充」の視点でまちづくりを進めます。将来の世代へ過度な負担（ツケ）を残さないよう、公共施設の最適化やデジタル技術（DX）による効率的な行財政経営を進めるとともに、豊かな自然環境と調和した美しい田原本を次の世代へ確実に引き継ぎます。

基本目標と政策

基本目標は、本計画が目指すまちの将来像と「3つの柱」を実現するため、今後10年間で町が重点的に取り組む5つの大きなテーマ（分野）を定めたものです。

健康・福祉、子育て・教育、防災・環境、農業・商工業、そして行財政運営の各分野において、行政と住民の皆さんが現状と課題を「自分ごと」として共有し、それぞれの強みを活かした「共創」の力でまちの質を高めていくための、確かな道しるべになります。

基本目標1

誰もが生きがいを持ち、「お互いさま」の心で支えあう心豊かなまち

誰もが住み慣れた地域で自分らしく、生きがいを持って暮らし続けられるまちを目指します。医療の充実や健康寿命を延ばすとともに、高齢者や障がい者の暮らしを地域全体で支援します。

また、多様性と人権を尊重し、住民同士が「お互いさま」の心で支え合う温かい地域のコミュニティを育むことで、すべての人が孤立することなく、安心して歳を重ねられる誰一人取り残さない福祉環境を創り上げます。

基本目標2

歴史と誇りをつなぎ、未来を拓く人を育むまち

田原本の豊かな歴史と文化への誇りを次の世代へ継承し、未来を担う人づくりを進めます。

妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。

また、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの確かな学力と豊かな心を育むとともに、誰もが生涯を通じて学び、スポーツや文化活動に親しむことができる、心豊かな共育のまちを実現します。

基本目標3

暮らしを守り、自然と調和する持続可能なまち

激甚化する自然災害に備え、防災・減災対策を強化して住民の命と暮らしを守り抜きます。

また、誰もが快適に移動できる、地域に即した持続可能な交通ネットワークを確保するとともに、豊かな自然環境の保全と資源の循環を進めます。

人口減少下においても生活基盤を適切に維持し、自然と調和した快適で安全な都市空間を次の世代に引き継ぎます。

基本目標 4

地域の魅力を高め、豊かさを生み出すまち

田原本の豊かな風土を支える農業を「稼ぐ農業」へと進化させ、農地の保全と持続可能な経営を支援します。また、商工業の活性化や創業支援により、地域経済の好循環を生み出します。

さらに、歴史・文化資源を活かした観光振興や「田原本ブランド」の戦略的な発信を行い、地域の価値を高めることで、新たな人の流れを生み、移住・定住の促進と住まいの確保へとつなげます。

基本目標 5

住民と共に豊かな未来を目指す共創のまち

本格的な人口減少を見据え、デジタル技術（DX）を活用した行政サービスの変革や、公共施設の適正な管理・更新を進め、持続可能な行財政運営を確立します。

併せて、行政と住民、民間企業などが対等な立場で課題を共有し、公民連携のもとで共にまちづくりを進める「共創」を推進します。

時代の変化に柔軟に対応できるよう組織力と人材の育成を図り、未来へつながる自立した行政経営の基盤を構築します。

総合計画の全体像（第5次総合計画 基本目標・政策一覧）

わたしが関わり、みんなで育む
「ちょうどいい幸福田園都市・田原本」

- ・ 人が繋がり居場所と出番と活力のあるまち
- ・ 安心安全と多様な文化価値を感じられるまち
- ・ 未来にツケを残さない持続可能なまち

基本目標1：誰もが生きがいをもち、「お互いさま」の心で支えあう心豊かなまち

- 政策1－1 支え合い自分らしく暮らせる地域づくり
- 政策1－2 健康寿命の延伸と医療体制の充実
- 政策1－3 誰もが安心して生活できる地域づくり
- 政策1－4 共生社会の推進

基本目標2：歴史と誇りをつなぎ、未来を拓く人を育むまち

- 政策2－1 子ども・子育ての希望が叶うまちづくり
- 政策2－2 豊かな個性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む教育の充実
- 政策2－3 地域の学びを支える環境の整備

基本目標3：暮らしを守り、自然と調和する持続可能なまち

- 政策3－1 災害に強く安全に暮らせるまちづくり
- 政策3－2 快適に住み続けられるまちづくり
- 政策3－3 環境に優しいまちづくり

基本目標4：地域の魅力を高め、豊かさを生み出すまち

- 政策4－1 持続可能な農業支援
- 政策4－2 地域産業の活性化と創業支援
- 政策4－3 地域の魅力の向上

基本目標5：住民と共に豊かな未来を目指す共創のまち

- 政策5－1 住民参画と公民連携による共創の推進
- 政策5－2 行財政改革の推進



奈良県
田原本町